

2015年度 前期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	生物環境化学科 電気通信工学科 建築・デザイン学科 情報学科 経営ビジネス学科						
科目名	日本国憲法						
科目区分	人間形成科目	単位数	2	開講時期	前期		
必修・選択の別	選択						
担当者	柴田滋						
授業の到達目標 (シラバスから)	<p>受講者は、この授業を履修することによって、</p> <p>①日本国憲法の性格と三原則について説明し、</p> <p>②正義と公正の精神に基づいて論理的に思考し、</p> <p>③国家と社会に係る問題に対して憲法判例や憲法学説を検索して客観的に判断することができるようになります。</p>						
日程と内容	<p>4月14日 第1回 憲法の意義</p> <p>4月21日 第2回 自然法思想と立憲主義</p> <p>4月28日 第3回 近代憲法から現代憲法へ</p> <p>5月9日 第4回 日本憲法史と日本国憲法</p> <p>5月12日 第5回 基本的人権の性格と分類</p> <p>5月19日 第6回 基本的人権の効力および制約</p> <p>5月26日 第7回 包括的人権</p> <p>6月2日 第8回 自由権（Ⅰ）思想、表現の自由</p> <p>6月9日 第9回 自由権（Ⅱ）信教、学問の自由、経済的自由</p> <p>6月16日 第10回 社会権（Ⅰ）生存権</p> <p>6月23日 第11回 社会権（Ⅱ）教育権、労働権</p> <p>6月30日 第12回 人権を保障する人権—参政権、国務請求権、手続き保障</p> <p>7月7日 第13回 平和主義（Ⅰ）国際平和主義の歴史</p> <p>7月14日 第14回 平和主義（Ⅱ）戦争の放棄</p> <p>7月28日 第15回 統治機構—象徴天皇、国会、内閣。裁判所、地方自治</p>						
成績評価基準	定期試験	100%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	<p>当事世間で問題になっている次章も取り入れながら、憲法の開設を行い学習目標の達成に努力した。授業評価において、理解度の評点は3.9であり、ほぼ達成できたと思っている。</p>						
反省点	<p>基本的人権に重点を置いた講義を行ったが、人権規定の法解釈学的な説明が必要以上であったところがある。もっと根本的な立憲主義の精神や減俸原則の意義、あるいは現時の憲法問題などについては、もっと時間をさいた方がよかったのではと思う。</p>						
来年度の計画	<p>今日、立憲主義や日本国憲法の原則についての知識や理解が広く求められるようになってきている。立憲主義の原理と日本国憲法の原則について、客観的な判断ができる素養と能力を涵養することにさらに努めたい。</p>						
授業評価アンケートに対するコメント	<p>受講生が自習に取り組んだ時間が比較的多かったのは、喜ばしいことだと思っている。全般にほぼ平均的な評価であり、一般的に評価を高めたいと思っているが、受講者数が多い科目であるので学習資料、教材等に工夫を重ねたい。</p>						
履修登録者数	245名	定期試験 受験者数	224名	合格者数	219名	合格率	98%